

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	川島 範男	電 話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3209		事務事業名称	狂犬病予防等対策事業					短縮コード	経常	3209	臨時	3735
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		狂犬病予防法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
○昭和25年狂犬病予防法施行 ○平成12年度狂犬病予防法改正により、同法に規定する事務の一部について、その権限が千葉県より市町村に委譲された。 ○春の定期集合注射や窓口での登録等の申請受付事務が主な業務。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
狂犬病予防施行後、犬の狂犬病発生件数は激減し、昭和32年以降狂犬病の発生は報告されていないが、海外では依然として発生しており、海外交流が活発化している現在、狂犬病発生の危険性は高いといえる。					大項目（節）	01	保健・医療						
					中 項 目	01	保健						
					小項目（施策）	02	疾病対策の推進						
					細 項 目	02	感染症対策						
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	飼い犬、犬の飼い主							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 1 定期集合注射：4月に市内各所に会場を設け、京葉獣医師会と共同で狂犬病予防注射を実施し、犬の登録及び狂犬病予防注射票を交付した。 2 犬の登録：登録申請のあった犬を原簿に登録し、犬の所有者に鑑札を交付した。 3 狂犬病予防注射済票の交付：狂犬病予防注射を受けた犬の所有者に注射済票を交付した。							
	※平成22年度に計画していること： 1 定期集合注射：4月に市内各所に会場を設け、京葉獣医師会と共同で狂犬病予防注射を実施し、犬の登録及び狂犬病予防注射票を交付する。 2 犬の登録：登録申請のあった犬を原簿に登録し、犬の所有者に鑑札を交付する。 3 狂犬病予防注射済票の交付：狂犬病予防注射を受けた犬の所有者に注射済票を交付する。							
意図 （何を狙っているのか）	狂犬病の発生を予防する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	飼い犬の推計頭数	頭	13,920	13,952	14,637	15,577	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	登録犬頭数／飼い犬の推計頭数	%	57	57	57	57	
	指標2	注射済票交付頭数/登録犬頭数	%	75	76	78	79	
	指標3	定期集合注射実施頭数	頭	2,883	3,200	3,187	3,200	
成果指標	指標1	犬の狂犬病発生件数	件	0	0	0	0	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3209	事務事業名称	狂犬病予防等対策事業			所属名	健康福祉課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0		
		県	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	0	0	0		
		その他	千円	1, 355	1, 498	1, 274	1, 441	
	主な事業費の内訳			印刷製本費 515, 960円 使用料及び賃借料 144, 900円	印刷製本 625, 000円 使用料及び賃借料 154, 000円	印刷製本費 492, 135円使用料及び賃借料 149, 940円	印刷製本費578, 000円使用料 及び賃借料 130, 000円	
	人件費 (B)			千円	8, 640	8, 452	9, 297. 2	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	9, 995	9, 950	10, 571. 2	10, 738. 2	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		集合注射の実施により狂犬病の発生を予防しており結びつく。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		現在狂犬病の発生はないが，狂犬病予防注射を促進し狂犬病の発生を未然に防ぐ必要があるため，今後も業務を継続していく。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		狂犬病予防法で鑑札の交付，狂犬病予防注射済票の交付等については，市町村長の事務とされている。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		事業内容に変更はなく現状のままでよい。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		定期集合注射については，毎年1 0日間程度平均6人程の職員がこの事務に従事しているが，可能な範囲で臨時的任用職員を活用することで担当以外の職員の事務負担低減を図ることが可能である。ただし，臨時的任用職員等の経費が発生するとともに，1 0日間と極めて短期間の業務に数名の臨時的任用職員を確保することは容易ではなく，それらを踏まえ検討していく。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法						
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3209	事務事業名称	狂犬病予防等対策事業				所属名	健康福祉課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			現在日本国内で狂犬病は発生していないが（国外で感染し国内で発病した事例はあり）、国外では狂犬病が発生確認されており国内に狂犬病が持ち込まれた際への対策（蔓延の防止）として、今後とも事業の継続が必要である。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成18年度より臨時的任用職員を1名採用し、正規職員の事務負担低減によるコスト削減を図っているが、臨時的任用職員の賃金予算の面からこれ以上の効果は望めない状態にある。また、八千代市内における世帯数の増加に伴い、登録申請数が増加していく為、今後事務負担の増加が予想される。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
○狂犬病の発生が40年以上無いことから、狂犬病予防注射の必要性に疑問を感じている人がある。 ○狂犬病への恐怖（発症した場合は、ほぼ100％死亡）や関心が薄れている。 ○法律により、犬の登録、狂犬病予防注射の接種が義務付けられていることを知らない人がある。 ○狂犬病を予防するため、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種義務の徹底を望む意見がある。									

所属長コメント	狂犬病予防接種率向上を目指して市内全域で行っている定期集合注射を今後どう進めていくか、運営の効率化と集合注射会場数との調整が課題である。また、動物の飼い方の啓発も更に行っていく必要がある。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
	☐ 廃止・休止								
	☐ 事業完了								
	☒ 現状のまま継続								